

市民病院の医師が
皆さんの病気の不安に答えます！

市民病院管理課
☎ 5710052



市民病院
脳神経内科
ホームページ

急性期脳梗塞は発症からの時間との闘い

- ・顔がゆがむ
- ・片側の腕または片側の手足に力が入らない
- ・片側の口角が下がる



- ・ろれつが回らない
- ・一つでも症状が突然現れたらすぐに受診
- ・言葉が出ない

A. Q.

どのような症状があるの？
急性期脳梗塞には次のようなチェック項目があります。
「FAST」で覚えましょう。

A. Q.

脳梗塞ってどんな病気？
脳の血管が狭くなったり詰まったりしてしまう病気です。
血管が詰まるとその先の血液の流れが止まってしまいます。その結果、酸素や栄養が供給されなくなり、その部分の脳細胞が死んでしまいます。

A. Q.

リハビリはどんなことをするの？
早期離床・早期歩行訓練をします。
合併症の予防と機能回復を促進するために、24〜48時間以内に病態に合わせたリハビリテーションの計画を立てます。そして、十分なリスク管理の下、発症後、できるだけ早期から座位・立位、装具を用いた歩行訓練、摂食・嚥下訓練、セルフケア訓練など、積極的なリハビリテーションを行います。

A. Q.

急性期脳梗塞の治療は？
急性期治療として、静注血栓溶解（rt-PA）療法があります。
また、状況に応じて血栓回収療法も行われます。
rt-PA療法とは、脳血管に詰まった血栓を溶かす効果のある点滴薬を投与する治療です。脳梗塞の発症から4時間30分以内の患者さんだけが対象となります。
できるだけ早く受診することで、治療の選択肢が広がり、後遺症の軽減につながります。

Interview



脳神経内科 主任部長
山下 圭臣

当院は尾張北部医療圏で唯一、脳卒中の患者さんのための集中治療室である脳卒中ケアユニット（SCU：Stroke Care Unit）を有し、専門医療スタッフがチームを組み、治療・リハビリを行っています。

SCUで治療することと早期からリハビリテーションを開始することにより、死亡率の低下、後遺症の軽減、早期社会復帰などにつながっています。

また、日本脳卒中学会から、24時間365日rt-PA療法を含む脳卒中の診療が可能な医療機関として、一次脳卒中センターの認定を受けています。



早期歩行訓練を行うための
リハビリテーションロボット